

かけがわ

市議会だより

平成29年6月定例会の内容をお知らせします。

第60号

平成29年8月1日

新
シリーズ
登場!!

おもな内容

市議会って?	2 ページ
6月定例会の概要	3 ページ
常任委員会委員長報告	3 ページ
一般質問	4 ページ
審議結果	9 ページ
委員会現地視察	10 ページ
傍聴席／9月定例会の予定	12 ページ



シリーズ “市議会って?” ①

9月には定例会が行われます。



茶のみやきんじろう ©掛川市

4月の掛川市長・市議会議員選挙から3カ月が過ぎました。投票は行ったけれど…そもそも市議会って何をするとところ？市議会議員はどんな仕事をしているの？こんな素朴な疑問にシリーズでお答えします。

市議会とは？

市長と同じように、選挙によって選ばれた市民の代表である市議会議員が集まって、住みやすい掛川のまちづくりを進めるためにどうしたらよいか、を話し合うところです。

市議会の仕事は？

市民を代表して意見や考えをまとめ、住みやすいまちにすること。

- 1 条例(市の決まり・ルール)を決めたり、廃止したりする。
- 2 予算(市民から集めたお金=税金をどのように使うか)を決める。
- 3 予算が正しく使われているか、市の仕事が正しく行われているかを調べ意見する。

市議会議員とは？

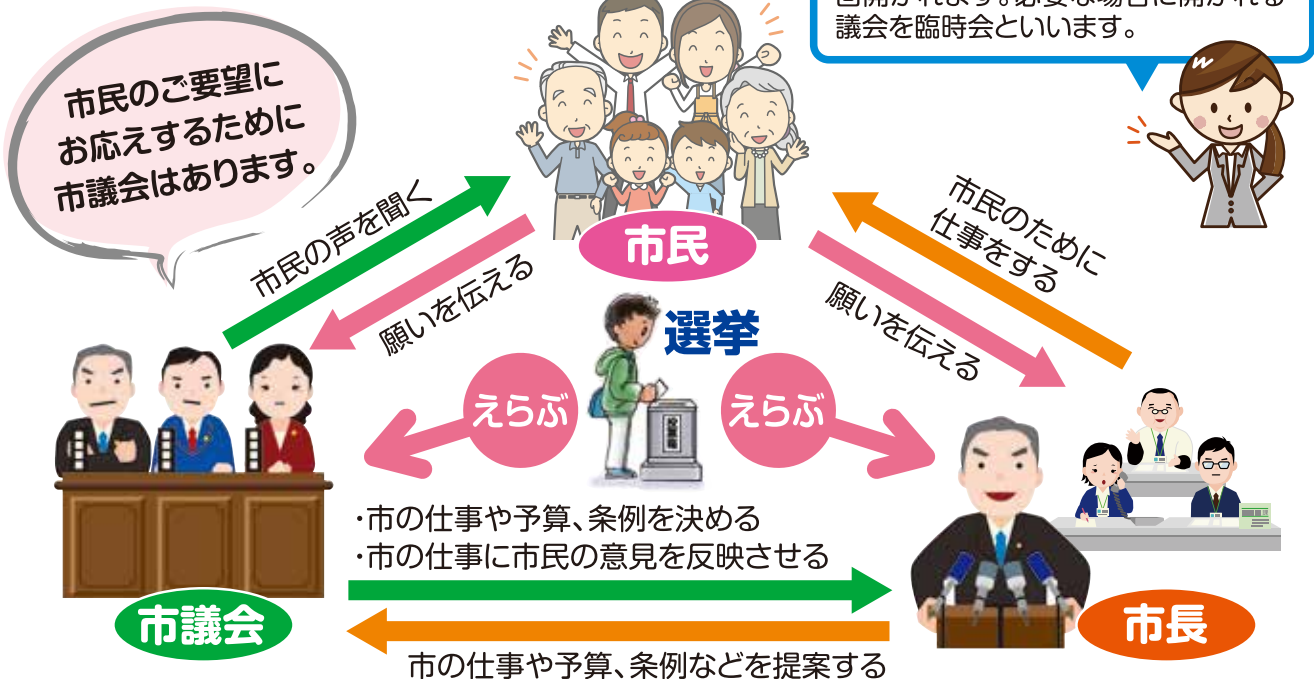
4年ごとに行われる選挙で選ばれる市民の代表。議員になれるのは25歳以上の掛川市民で、議員を選ぶことができるのは18歳以上の掛川市民です。掛川市の議員定数は条例で決められていて、21人です。

議長と副議長

市役所の代表者が市長であるのと同じように、市議会の代表者として議員の中から選ばれた議長・副議長がいます。

市議会の仕組み

市議会は、決まった時期に行う議会を定例会といい、3月、6月、9月、12月の4回開かれます。必要な場合に開かれる議会を臨時会といいます。



※次回は「委員会」について掲載します。

6月 定例会

平成29年度掛川市一般会計補正予算(第1号)をはじめとする27議案について、本会議、常任委員会にて活発な議論、審議が行われました。

平成29年度一般会計補正予算(第1号)の概要

補正額..... **1,319.6万円**

補正後の予算額..... **473億319.6万円**

【一般会計補正予算のうち主な補正額】

歳出

① **COOL CHOICE*(クールチョイス)普及啓発事業** **250万円**

環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として、児童及び保護者を対象とした環境学習事業などを実施します。

② **学校司書配置経費** **80.2万円**

児童生徒が学校図書館を利用しやすくし、子どもの読書活動の充実を図るために学校司書を増員2人増員し、11人にします。

③ **小学校給食配膳員配置経費** **989.4万円**

小学校における学校給食の円滑な配膳及び教師の負担を軽減するために、配膳員(臨時職員21人)を配置します。

*COOL CHOICE(クールチョイス)とは ~環境省ホームページより~

2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

例えば、エコカーをかう、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」。

常任委員会 委員長報告 (抜粋)

平成29年度補正予算関係議案及び条例関係議案などを審査するため、6月29日に3つの常任委員会に分割付託され、以下のような質疑がありました。

総務委員会委員長報告

掛川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

Q 本改正は、比較的若い職員が対象となると思うが、何歳くらいまでが対象となるか。

A 勤続期間が12か月以上。退職手当の額が雇用保険法の基本手当の額に達していない。待期日数が一定の期間を超えて失業している。退職日から1年以内に失業している。これらの条件を満たす、採用から概ね4年未満の職員が対象となる。

市道掛川高瀬線道路改良工事請負契約の締結について

Q 応札した事業者数と落札した事業者の落札率は。

A 応札した共同企業体数は7共同企業体で、落札率は92.87%である。

千浜小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について

Q 応札した事業者数と落札した事業者の落札率、現在の千浜小屋内運動場の解体費用は。

A 応札した共同企業体数は5共同企業体で、落札率は96.68%。解体工事費は2,516万円で別途発注した。

環境産業委員会委員長報告

一般会計補正予算・COOL CHOICE普及啓発事業費について

Q 当初の計画では事業費が500万円であったが、半額の250万円になった理由は。

A 計画していた事業のうち、国の審査により一部が採択され、結果として250万円の事業が認められたため。

Q 本事業は、ラグビー関連だけでなく他のスポーツ教室などでの普及も可能か。

A 2019年にエコパも一会場として開催されるラグビーワールドカップと関連づけて地球温暖化防止対策の啓発を計画した事業であるが、他のスポーツ教室においても同様に普及啓発事業を実施したいと考えている。

文教厚生委員会委員長報告

一般会計補正予算・読書教育推進事業費について

Q 週に3校という司書配置が満足できる目標値になるのか。

A 司書が学校に入ることにより、貸し出し数が増えている。計画的に進めて、平成33年度には各学校に2~3日入るようになり、更に充実した活動になると考えている。

一般会計補正予算・学校給食運営費について

Q 配膳員の仕事内容は。

A 事務助手と共同で、配膳室での給食の仕上げやお茶の準備、片付け、残滓等の回収、ワゴンの運搬等を行う。また、配膳室、配膳ワゴンの清掃や消毒等の衛生管理も行っていく。

掛川市学校給食共同調理場に関する条例の一部改正について

Q 条例改正の意図は、栄養教諭の資格を取得した者を調理場に配置し食育に力を入れるということなのか。

A 栄養士と栄養教諭ともに県職員のため、県の人事により配置されているが、栄養教諭の資格を取得した方が学校に向いて食育を積極的に推進していただければと願っている。



公明党かけがわ
山本行男

就学援助要綱の改正は

Q ランドセルや制服など入学時の費用は、今まで入学後の支給となっていた。このため、文部科学省は就学援助要綱の一部改正を行い、平成29年度から小学校への入学年度開始前に支給できることを明記し、各都道府県の教育委員会に到達した。このような通達を踏まえ、市の対応を伺う。

制度化に向けて検討を進める

A 国の補助金交付要綱の改正を受け、掛川市においても新入学用品費を入学前に支給できるよう、他市町の制度を調査し、制度化を検討しているところです。



「出番」を待つランドセル
(市内販売店)

新入学用品費を入学前に前倒しで支給するためには、制度を移行する年に2年度分の新入学用品費が必要となります。今後は補正予算での対応が可能か、検討していきます。

庁内の働き方改革の取り組みを問う

Q 安倍首相は、今年3月に働き方改革実行計画の取りまとめを行った。今後、市や企業に計画の実行を求めていくと思われる。庁内でのような取り組みをしていくのか伺う。

全庁的な取り組みを開始

A 市でも、働き方改革について全庁的な取り組みを開始したところであり、その目的は、職員の長時間労働の是正や健康管理の充実により、ワークライフバランスと生産性の高い働き方を実現することで、市民サービスを向上させることにあります。今後は、職員の意識や仕事のやり方を変えることにより、スキルアップと業務の効率化を図りながら、業務のスクラップによる掛川市全体の事務事業のスリム化にも取り組んでいきます。



共に創る掛川
窪野愛子

ワークライフバランス推進企業顕彰制度創設は

Q 「掛川市第3次男女共同参画行動計画」を今年3月策定し、計画の中で企業の顕彰制度を検討することであった。受賞は企業のイメージアップ、社会貢献につながると思うが、顕彰制度を創設する考えはあるか。

事業所顕彰制度を準備中

A 現在、掛川市においては、「ワークライフバランス」の重点項目である「仕事と健康づくり」について、すでに実施している認定制度として、生活習慣病の予防や改善など社員の健康に取り組み「かけがわ健康づくり実践事業所認定事業」があります。また、「子育てと仕事の両立」について、休暇制度の見直しな



女性管理職の登用に積極的な事業所
(三笠運輸)

ど、子育てしやすい環境整備に積極的に取り組む事業所の認定制度の実施に向けて、準備を進めております。

小規模保育園卒園後の受け皿の確保は

Q 0～2歳児対象の小規模保育園7か所の本年卒園数は52人であった。保護者のニーズは引き続き保育園の入園であり、既存幼稚園の認定こども園化が必要だと考えるがいかがか。

地域の子ども達にとって良い形態を検討

A 今年度の年少クラス入園児数の状況は、さかがわ幼稚園は、定員30人に対して25人、三笠幼稚園は、40人に対して43人となっています。さかがわ幼稚園は、初めて定員割れの状況となり、ニーズの変化が顕著になってきております。この地域の子ども達にとって、保育園、幼稚園、認定こども園など、どのような形態が良いかを検討して、地域のみなさんの意見も伺っていきます。

また、三笠幼稚園についても、今後の保育ニーズの変化を見極め、そのあり方を検討していきます。



創世会
寺田幸弘

南部地区認定こども園の進捗状況は

Q 大東区域、大須賀区域は、現在ある公立幼稚園8園と私立保育園5園の合計13園を、民営の認定こども園5園に再編する整備計画が進められている。計画の中で公立のこども園を設立することなく、民設民営化するに至った経緯と現時点での建設候補地、経営母体が異なる大東福祉会、大須賀苑の二法人の教育活動や行事などを同一としていくための市の取り組みについて伺う。

推進委員会からの提言を基に整備を推進

A 平成24年2月の「掛川市乳幼児教育振興計画策定に向けての提言」の中で、民営幼稚園に再編することが示され、その後、平成27年11月に設置した「大東大須賀区域認定こども園化推進委員会」で協議を重ねた結果、民間法人による特色のある園運営と就学前教育の充実を進めていけることなどから、

民営化で進めることになりました。

建設候補地については、平成28年8月に「大東大須賀区域認定こども園化推進委員会」から提言された候補地を中心に、市民ワークショップや地元説明会での意見を参考に検討をしているところです。大東大須賀区域の子どもたちへの幼児教育に対する共通理念として「大東大須賀区域認定こども園建園の精神」を定め、この建園の精神に基づき、各園がそれぞれの園目標などを定めていきます。

また、建園の精神をもとに各園ごとに開園に向けて保育教育のカリキュラムや行事、保護者組織の活動等についての話し合いを始めています。



子どもの笑顔あふれる幼稚園



創世会
小沼秀朗

健康日本を目指す掛川市の介護保険料抑制対策は

Q 介護保険料抑制に向け、第7期介護保険事業計画では、在宅介護の推進を強化するなどの見直し等が必要と考えている。掛川市の介護保険料が県内で最も高い現状に今後どう対策するのか伺う。

生涯お達者市民を増やし、保険料抑制を図る

A 平成27～29年度までの第6期介護保険計画では、高齢者等のニーズに応じて、他の市町に先駆けて希望の丘等の施設整備や居宅サービスの充実を図りました。その結果、県下で一番高い介護保険料となりましたが、市民が安心して暮らせるよう、介護サービスを受けた方が、いつでも、どこでも必要ときに受けられる体制が整ったものと考えています。今後は「健康日本」を目指し、かけがわ生涯お達者市民推

進プロジェクトを進めるとともに、介護予防や認知症予防に力を注ぎ、介護のお世話にならない生涯お達者市民を増やすことで、介護保険料の抑制に努めていきたいと考えています。

教育日本に向けた小中一貫教育推進は

Q 「中学校区学園化構想」の第2ステージとして「小中一貫教育」の推進を図るということだが、「特別支援学級の児童及び生徒」や「通常学級に在籍している支援を要する児童及び生徒」に対して、期待される効果はあるのか伺う。

今以上に継続性のある支援・指導ができる

A 小中一貫教育は9年間を通じて一貫した支援・指導に取り組むものであり、小中学校の教員間の連携が取りやすく、児童の障がいの状態や特性に関する情報、小学校段階での支援・指導の内容についての情報が中学校へ引き継がれやすいことから、今以上に継続性のある支援・指導が期待できます。



共に創る掛川
松浦昌巳

東日本震災の教訓は生かされているのか

Q 災害時、早急な自助・共助活動を行うための迅速な情報収集と、避難所運営を考えた訓練が必要であると考えるが、所見を伺う。

自主防災会同士の連携体制の強化を図る

A 各地域の被害状況等は、無線などを活用し、情報を集約する仕組みが確立されています。各自主防災会や地域の枠組みを越えた支援については、現在、まちづくり協議会を基本単位として作成を進めている地区防災計画の中で、自主防災会同士が連携体制を図ることを盛り込んでいます。今後、避難者の受け入れや、生活支援の可否についての情報を収集して、広域的に活用する仕組みづくりを進めます。

市民サービスの向上を目指す市職員の仕事満足度向上を

Q 市職員は楽しく仕事ができますか？市民サービスは十分ですか？一人一人が働きやすくいきいきとした職場づくりのための改善提案活動と、職員のモチベーション向上のための表彰制度が必要と思うが、所見を伺う。

職員一人一人の意欲とアイデアで働き方改革を

A これまでも、庁内業務や市民サービスの向上のため、業務改善に努めてきました。今年度に入り、職員一人一人が、ワークライフバランスを確保し、意欲を持って働くことができるよう、「働き方改革推進会議」を設置し、行政が行っている事務事業の見直しや業務手続きの効率化に関する改善提案の募集を行いました。今後、各職員が真剣に考えたこの改善・改革提案を検討し、実践していきたいと考えています。



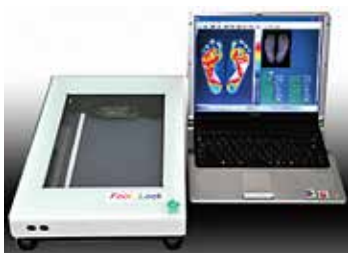
創世会
山本裕三

子どもたちの足裏が危ない

Q 市内の3〜5歳児492人を対象に、足裏の状態について独自調査を実施したところ、「浮き指」278人、「外反母趾」154人、「扁平足」138人という結果で、子どもたちの足の健康に危機感を感じる。行政として対応すべきと考えるが、所見を伺う。

医学的な情報を収集していききたい

A ゲーム機等の室内遊びが多くなったことにより、外遊びや歩いたり走ったりする機会が減り、足の筋肉の未発達が考えられます。また、足の筋肉



足の検査に使用した「フットルック」公式HP画像

の未発達は、転びやすかったり、バランスのくずれた姿勢につながったり、足の疲労が蓄積したりして、足への負担が大きくなります。赤ちゃんは、扁平足で生まれ、7歳から10歳ころまでに土踏まずが形作られていくことがほとんどであると言われておりますが、扁平足等の早期発見、対応の必要性について、改めて医学的な情報を含め収集していきたいと考えています。

「we+138」ストアの事業の見直しは

Q オープンから営業不振が恒常的に続いており、事業の根底からの見直しが必要ではないか。市として、今後どのようなスタンスで「we+138」ストアの課題に取り組むのか伺う。

現行の業態を生かし、ストアの経営改善を後方支援

A 国の補助金を受けていることから、今の時点で経営主体、業態を根底から変えることは不可能と考えています。そのことを前提として、関係機関と連携し、弥栄かけがわが行う「we+138」ストアの経営改善を後方支援していきたいと考えています。



共に創る掛川
鈴木久裕

**エコパの掛川エリアの整備
推進は**

Q 小笠山運動公園第二期整備の推進を県に要望していくべきと思うが、いかがか。また、エコパへ県営野球場誘致の意向はどうか。

**野球場などの施設整備を
県に対して要望していく**

A 小笠山総合運動公園でのスポーツイベントに国内外から集まる観戦者へ、掛川市の魅力を発信し、交流人口の増大を図るためにも、掛川市域側の施設整備は必要であると考えます。

また、健康長寿への関心も高まり、生涯スポーツはますます重要な施策となることから、市民をはじめ、多くの人が充実した施設でスポーツを楽しむことができるよう、県営野球場のことも含めて、県に対して施設整備に関する要望をしていきます。

行政評価実施に向けた課題は

Q 自治基本条例で市長等が行うと定めた、政策、施策及び事務事業の成果と達成度の明示と行政評価が、施行後4年経過してもできていないが、行政評価の対象となる事務事業など、市の仕事はいくつあるのか。また行政評価実施に向けた課題は何か。

十分な庁内連携と市民協働の議論による施策選択へ

A 行政評価の対象となる事務事業は、約1100あります。これまで、行政評価の取組を、確立できなかった要因として、①行政評価を次年度以降の行政運営に反映する庁内連携が不足していたこと、②評価の準備作業に時間を要して、本来の議論が十分にできなかったこと、③このことから、真に必要な事務事業の選択が十分にできなかったこと、があげられます。協働によるまちづくりを実現するうえで、行政評価を行政内部の議論にとどめず、施策の内容と効果を市民の皆さんに分かりやすく公表するとともに、ご意見ご提案もいただきながら、真に必要な施策を選択する実効性のある仕組みとして確立する必要がありますと考えています。



創世会
榎村航一

「静岡茶草場世界農業遺産センター」の設立を

Q 粟ヶ岳山頂無料休憩所の建て替えを行う際は、粟ヶ岳の周辺整備を進め、単なる休憩所ではなく、掛川茶を世界にアピールできる情報発信基地の設置が重要と考えるが、市長の所見を伺う。

県と連携して施設整備を進める

A 平成25年5月の世界農業遺産認定以降、検討を進め、東山、倉真、粟本の地域住民や有識者などと粟ヶ岳全域の整備について検討し、本年度、粟ヶ岳山頂無料休憩所の設計を行っています。

県の「ふじのくに茶の都しずおか構想」の目指す姿と連携し、その総合拠点である「ふじのくに茶の都ミュージアム」のサテライト機能を持つ施設として位置づけたものにしたいと考えています。

**木と共に生きていく
「木育」への取り組みを**

Q 生涯を通じて、地元の木材に触れ、地元愛に溢れた大人に育っていく「木育」の活動を推進するため、「生涯木育宣言」をし、木育の面でも全国をリードしていくべきと考えるが、所見を伺う。

木の文化を継承するまちづくりを進める

A 掛川市は、誇るべき木造建築物が数多くあるまちで、それがすばらしさでもあります。また、市面積の約40%は森林です。今後も、木に触れることの多い、木の文化を継承するまちづくりを進め、これまでの木の文化への取り組みを考え、郷土愛を育む「生涯木育宣言」についても検討していきます。

【他の質問事項】

・森林環境税への対応姿勢について



荒廃した森林が、5年でここまで再生した

一般質問 Q&A



中心市街地活性の中核となる[we+138]ストア



至誠の会
鷲山喜久

「弥栄かがわ」に税金の投入はあるのか

Q 駅前の「we+138」ストアは、業績が計画どおりになっていない。「弥栄かがわ」は経営責任がある。業績を回復するために、市長は税金投入を考えているのか。

A 市税を直接投入することは考えていません。中心市街地に賑わいを創出する取り組みについては、支援を検討していきます。

街区公園整備を、防災や避難地の観点から早急に

Q 「緑の基本計画」によると、今後整備予定の街区公園が16か所位置づけられており、そのうち西山口地区に宮脇2号公園と宮脇3号公園がある。用地は確保されているので、早急に公園として整備をすべきと考えますが、いかがか。

A 市内には、土地区画整理事業区域内の未整備となっている都市公園が本公園を含めて13か所あり、供用開始に至っていない状況です。今後の施設整備は、利用者の安全対策を中心とした防犯灯やフェンス等の管理施設とともに、防災や避難地の観点からトイレ等の便益施設の必要最小限な整備に留め、周辺の宅地化率等を勘案して、順次検討していきます。

激増するニーズに対応できる児童保育所の迅速な整備を

Q 児童福祉法などの法律に準拠し、法の最低基準（広さ・人数など）を守った安心安全な施設整備を責任もって進めていただきたいが、いかがか。事業計画の見直しと国の緊急支援策を利用した施策を。

A 担当職員が現場をよく把握し、施設修繕等により、児童の安全が確保されるよう対応しています。



需要の増える児童保育所



日本共産党
勝川志保子

また、衛生及び安全が確保されるよう、各施設の状態に応じた整備を行っております。さらに、順次施設整備を行い、よりよい環境でお預かりできるよう努めていきます。

原発災害広域避難計画に伴う市の避難計画策定を問う

Q 実効性のある避難計画の策定は困難である。市民の命と暮らしを守るため、浜岡原発の再稼働に対するの明確な態度表明を求めるが、いかがか。

A 浜岡原子力発電所に関しては、万全な安全対策が完了し、将来にわたり安全・安心が確保され、国の原子力規制委員会と中部電力が市民に対し、しっかりと説明し、市民の理解が得られなければ再稼働できないと考えています。

【他の質問事項】
・「子どもの貧困調査」とそれととも
づく今後の貧困対策、子育て支援策について



整備が進む「掛川潮騒の杜」

**海岸防災林強化事業
「掛川潮騒の杜」の
整備促進は**



創世会
一 村 禮 一

Q 市南部地域の中・長期的な発展のためにも、「掛川潮騒の杜」事業を着実に推進する必要があると考えるが、完成に向け今後の盛土材の確保計画について伺う。

A 掛川モデル推進協議会で今後の事業計画を説明し、関係する地元区及び地権者への説明会を開催します。その後、地権者に現地での境界立ち会いをお願いし、用地測量を実施します。最後に面積と金額をお示しし、土地売買の契約をさせていただきます。事業が1日も早く完成するために、関係地区や地権者の皆様の協力を強く願います。

Q 今後、用地買収をどのように進めていくのか伺う。

A この事業を全て完成するためには大量の土砂が必要となりますが、限られた財源の中でも着実に進めていくためには、市内外を問わず、あらゆる手段を講じて、できるだけ費用をかけずに盛土材を確保したいと考えています。

今後の用地買収の計画は

あらゆる手段を講じて盛土材を確保したい

6月定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	議決内容
第68号	平成29年度掛川市一般会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
第69号	掛川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	全会一致可決
第70号	掛川市立学校体育施設等使用条例の一部改正について	全会一致可決
第71号	掛川市学校給食共同調理場に関する条例の一部改正について	全会一致可決
第72号	掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全会一致可決
第73号	市道掛川高瀬線道路改良工事請負契約の締結について	全会一致可決
第74号	千浜小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	全会一致可決
第75号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
第76号	掛川市道路線の変更について	全会一致可決
第77~90号	掛川市農業委員会委員の任命について	全会一致同意
第91・92号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
報告 第1号	平成28年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について	受理
報告 第2号	平成28年度掛川市水道事業会計建設改良費繰越しの報告について	受理

市内の現地を視察

各常任委員会において、5月下旬に所管事務事項の調査として、
市内の現地視察を実施しました。
各委員会より現地視察の内容を報告します。

総務委員会

所管事項

総務部、企画政策部、市民協働部、危機管理部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会および水道部の所管に属する事項ならびに他の常任委員会の所管に属さない事項

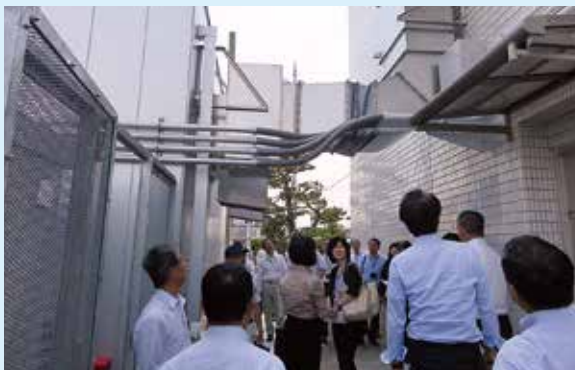
〔視察箇所〕

- 中央消防署西分署(富部)
- ビジターセンター・たびスタ (JR掛川駅構内)
- 南西郷工業用地(寺ヶ谷)
- 清水家本宅(清水邸)(横須賀)
- 大東温泉シートピア(国安)
- 大東支所(放射線防護対策改修工事)(三保)
- 水道料金お客さまセンター (水道事業所内)(逆川)
- かけがわ茶エンナーレ作品プレ展示 (市内3か所)

南西郷工業用地視察では、工業団地の造成で、新たな雇用の創出と定住人口の増加により地域経済の活性化が図られる。

かけがわ茶エンナーレでアーティストの作品を展示することで「茶」を「緑」にした国内外の交流拡大を図り、掛川オリジナルの茶文化を創造し、発信していく必要があると感じた。

総務委員長 二村 禮一



大東支所(放射線防護対策改修工事实施箇所)



ビジターセンター・たびスタ

「議員研修会」を開催

4月28日、今回の選挙で初当選を果たした9人を含めた21人の全議員を対象に、「地方議員の心構えと議会の役割」と題して、静岡大学の日詰一幸教授より講話をいただきました。

地方議会を取り巻く環境の変化や地方議会の存在意義、議会と住民との関係などの内容を拝聴し、講話後には多くの議員から質疑がありました。

今後もこのような研修を定期的に行いながら、議員としてさらなる資質向上に努めていきます。



環境産業委員会

所管事項

環境経済部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項

〔視察箇所〕

- 梅橋（橋梁長寿命化修繕事業）（曾我）
- 綱川橋（橋梁耐震歩道改良）（領家）
- 市道桜木中横断線（細谷）
- 掛川市森林組合新事務所（大和田）
- 市道滝ノ谷東線（滝ノ谷）
- 環境資源ギャラリー（満水）
- 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」実践地（東山）
- 市道三井幹線（三井）
- 千浜西団地市営住宅（千浜）
- 掛川モデル海岸防災強化事業（沖之須）
- 市道掛川高瀬線（上内田）
- 掛川商工会議所新会館（緑町）
- 「We+138」ストア（栄町）
- 掛川浄化センター（長谷）
- 生物循環パビリオン（長谷）

掛川の環境を日本一にすることを目標とし、市内の産業を振興する委員会として、山から海まで市内を縦断し「市民の皆様の安心安全をつくり、生活を豊かにする道路、橋梁、歩道改良ほか」15か所の視察を行いました。掛川市の元氣、活性化に直接関連する委員会ですので、今後も市内農商工業他産業の活性化の推進に努めます。

環境産業委員長 小沼 秀朗



市道桜木中横断線の工事箇所



世界農業遺産「静岡の茶草場農法」実践地

文教厚生委員会

所管事項

健康福祉部、こども希望部及び教育委員会の所管に属する事項

〔視察箇所〕

- かけがわ茶エンターレ作品プレゼン 慧星発見の丘（五明）
- 北中学校（Pepper導入）（上西郷）
- 子育てセンターとものもり（大池）
- 就労継続支援A型事業所（森林果樹公園 アトリエ）（下俣）
- 希望の丘（中部ぶくしあ／小笠急患診療所）（杉倉南）
- 特別養護老人ホーム大東苑（下土方）
- 大坂小学校体育館（大坂）
- （仮）大坂認定こども園建設予定地（大坂）
- グループホーム野楽里 小規模多機能型居宅介護施設よりみち（大淵）
- 掛川あそび保育園（岡津）
- 松ヶ岡（旧山崎家住宅）（南西郷）

福祉・教育・健康・子ども子育てと乳幼児から高齢者まで、幅広く市民生活に関係の深い委員会です。また、日ごろ、各施設で支えていただく皆様には、大変感謝申し上げます。待機児童や認定こども園、高齢者福祉、障がい者雇用など、現場を見て、多くの声を聞き、課題解決に対応できるよう、日々研究と協議を重ねてまいります。

文教厚生委員長 松本 均



大坂小学校体育館（平成29年3月完成）



北中学校（Pepper導入）

議会日誌

【5月】

- 22日(月) ○市議会全員協議会
- 24日(水) ○全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 26日(金) ○総務委員会協議会
○環境産業委員会協議会
○文教厚生委員会協議会
- 29日(月) ○文教厚生委員会現地視察
- 30日(火) ○環境産業委員会現地視察
- 31日(水) ○総務委員会現地視察

【6月】

- 1日(木) ○静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)
- 5日(月) ○議会運営委員会
○議員懇談会
- 12日(月)～7月6日(木)
○掛川市議会第3回(6月)定例会
- 16日(金) ○議会だより編集特別委員会
- 27日(火) ○議会運営委員会
- 29日(木) ○環境産業委員会協議会
- 30日(金) ○議会活性化特別委員会

【7月】

- 3日(月) ○議会だより編集特別委員会
- 11日(火) ○議会だより編集特別委員会
- 13日(木) ○議会だより編集特別委員会

議会報告会を行います

～開かれた議会を目指して～

議会報告会は議会基本条例に基づいて行われ、議会活動について市民のみなさんに説明責任を果たすとともに、みなさんの意見をうかがい、議会活動に反映させるものです。全議員を3班に分け、9会場で議会活動や姿勢に関する報告と意見交換を行います。今後、広報かけがわや市ホームページ、地区回覧などで日程をお知らせします。

多くの方の参加をお待ちしています。

9月定例会の予定

- 9月** 1日(金) 本会議(議案の提案説明)
- 13日(水) 本会議(一般質問)
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 15日(金) 本会議(一般質問～議案質疑～委員会付託)・常任委員会
- 25日(月) 一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会
- 26日(火) 一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会
- 10月** 6日(金) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

傍聴席

6月27、28日午後には傍聴、29日はインターネット中継を拝聴しました。感想を書かせて頂きますので市政関係者の皆様で実現願います。答弁は結論が先。その後補足及び関連説明を行う。「努力する、検討する、参考にする」より、いつまでに誰が何をするか回答する。PDCAサイクルを作成し公開する。市政に係ることは、市議会、常任委員会、特別委員会、13部2支所40課で行政の透明化(将来像、中間・最終結果報告の確認)のために三ヶ月に一度見直します。作成範囲は市役所内で収集した職員改善提案も含む。現場を五感で体感する。議会は話し合いの場ですが、陳情、要望がある市民の環境確認を行うこと。周知徹底の仕方を考えて下さい。掛川市地域公共交通ネットワーク形成計画についてパブリックコメントの要求が出ていることを知りませんでした。公表するから伝え収集することへ意識改革をする。掛川市及び市民のために、日々ご尽力いただけますようお願い致します。

加藤睦博(新井区)

編集後記

議会の「見える化」をめざして

平成29年度、30年度の2年間が任期で、議会だより編集特別委員会は、8名の議員で構成され、その内2名は女性議員でのスタートです。「市議会だより」を、多くの皆さんが読みたくなるように、特に女性の視点や、今議会が何を行っているのか等、議会のことは、「市議会だより」を見ればわかるように、より一層編集に力を入れて、日々変化する情勢に対応した紙面づくりを目指します。

議会だより編集特別委員会
委員長 鷺山喜久



議会だより編集特別委員会委員(敬称略、左から)
(後列) 藤原正光、榛村航一、草賀章吉、寺田幸弘
(前列) 山本行男、富田まゆみ、鷺山喜久、勝川志保子
(副委員長) (委員長)

※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。